

平成26年8月27日

9年生保護者様

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析について

小城市立小中一貫校  
芦刈観瀾校  
校長 納富博文

平成26年度全国学力・学習状況調査は、4月22日に全国の中学3年生に対して行われたものです。教科は国語・数学の2教科で、国語と数学はそれぞれ「基礎的知識を問うA問題」及び「知識を応用する力を見るB問題」のテストが行われました。生活・学習状況等に係るアンケートも同時に行われました。本校では、今回の調査結果を基にして成果と課題を分析し、学習内容や指導方法の改善・充実を行い、生徒一人ひとりの学力の向上を図っていきます。なお、生徒一人ひとりの学習の状況につきましては、1学期末に「学習状況シート」を配布しております。

	分析結果	今後の指導について
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>○全体の正答率は、県平均と同程度である。</li><li>○観点別では、「話す・聞く」と「読む」は県平均と同程度、「書く」と「言語事項」は県平均をやや下回っている。</li><li>○必要に応じて質問をする、足りない情報を聞き出すといった内容の問題の正解率が低い。</li><li>○語句の意味を理解し、適切に使うことができるかをみる問題の正解率が低い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○話を聞く際には、メモを効果的に取らせ、場の状況に応じて質問をさせる活動を仕組み、話し手と聞き手双方の理解を深めさせる。</li><li>○知らない熟語の意味をその漢字の訓読みから推測したりする機会を取り入れる。</li><li>○ことわざや慣用句を使って短文を作る活動を行う。</li></ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"><li>○全体の正答率は、県平均を大きく下回っている。</li><li>○観点別では、「見方や考え方」は県平均と同程度であるが、「技能」と「知識・理解」は県平均を大きく下回っている。</li><li>○「指数をふくむ計算」「文字式に数値をあてはめる計算」「比例の式を求める問題」の正答率が特に低い。</li><li>○用語や基本となる知識の習得が不十分なままの生徒が多い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○分析結果より、技能の定着が不十分であることが分かった。特に、「指数をふくむ計算」「文字式に数値をあてはめる問題」「関数の式に関する問題」は習得が不十分である。その他の計算問題と合わせて週末課題で補っていく。また、小テストを繰り返し行い、定着が不十分な生徒には、昼休みや放課後を利用した補充指導を行っていく。</li><li>○2学期以降は、昼休みに数学担当者が教室を巡回し、いつでも質問をできる雰囲気を作っていく。</li></ul>
生活に関する調査	<ul style="list-style-type: none"><li>○「学校に行くのは楽しい」などの質問で、肯定的な回答が多く、豊かな学校生活を送れている生徒がほとんどである。</li><li>○自己肯定感も高く、向上心を持って生活をしている様子がうかがえる。</li><li>○ゲームを平日に2時間以上している生徒の割合が県平均よりも多い。</li><li>○宿題や予習をしている割合が県と比べて低く、家庭での学習が十分に定着していない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○スマートフォンの所有率が高いことから、マナーや時間の使い方等、メディアとの関わり方について、学校と家庭の一層の連携・協力を図っていく。</li><li>○ゲームの時間など、家庭での時間の使い方を考えさせる取り組みを行う。</li><li>○家庭・地域と連携して家庭学習の習慣を定着させる取り組みを推進していく。</li></ul>